土州人漂流記

862
119
1

十六

国立国会図書館　タイトル『土州人漂流記』　請求記号 862-1

ガラス使用

25 53 I

国立国会図書館　タイトル『土州人漂流記』 請求記号 862-1

ガラス使用

862
119
1
76

土州人漂流記

天保十庚子年二月漂流
嘉永元戊子年帰国
化拾三ヶ年

国立国会図書館　タイトル『土州人漂流記』　請求記号 862-1
ガラス使用

862-1
176

土州人漂流記

永阪　清蔵　年四十五才

同　重助　年六拾

同　左右吉　二十七才

同　左仙蔵　二十八才

カンキ　万治郎　二十六才

右者文政元寅年より文政十三寅年迄五月之日

九州長崎
中浜万次郎

国立国会図書館　タイトル『土州人漂流記』　請求記号 862-1
ガラス使用

形流猥に船を乗出し、南を出て、
こゝを〳〵して、長船南海に出、七日の日に、
八丈縄捕三ツ上流し、ほを二ツ立て、東の四ツ
深夫ゝ再び乾の方へ流れ行、梶もなく、
梶長を伐て流れ行、十日に、衣服を水に
恵雖事、十二日の巳刻に、薩摩の海上へ
流れ出て、船一国に中ゆへ、世ゝ深く、
有度〳〵、命を生じて、海上を渡り、遂に第て

一つの浦に着て、世を忍ん船を、岩石
長船を立て、船を繋き、元角を
引や〳〵、年ゝ、月日、船をはけ、人を陸
さて是十二日、時代の事ゝ

一、古代に、船を彼元角、伽羅木の〳〵、岩に生
ゝ、伐ゝ流ゝ、ふ、古の形を、元、是、
ゝ、ゝ、ゝ、ゝ、ゝ、ゝ、

一、其浦、食を、ふ〳〵、右、後の命、号、
成ゝ、ひ、者ゝ、

元武い就らし又と生て汐のてとみて居ら
一水をと成絶後を深見の如水痛を極て
拾ひとり岩と流て水をれ生て沢をもすくるを和
漕ぐ世い切と信小使とも海のて渡を渡し
うまとて防ぎ切れ小使ともてかすくるし
一坂の岩の穴を成生の住居とし東国
一海の中に生来弟未をふ生ヤシヤチアシヤの類
をもとるを生て頂上に年にて井を牲て海と
一日月中こり長崎帝与第と長崎帝一坂急て
出て海の船を見て長崎帝与を言て
鶴をとい鶴の肉を喰来生と長崎て童同
と食をとるを拾ひ
一六月三日男子一日拾て御汐に酒を病然
していの赤病弁をを出岩の船をれらて兵衛与
青病に

一万延元年の頃ハ新井家にて手ぶらの元来を
持参せし
一文月三日の頃沖合に大船来懸り候ハ
衣を持ち出でと上ケ持て右の船にてもイングヲ
国のものにて有之薩摩藩の加治屋町を
過ぎんとす然るに沖合に出て再び
船を寄せ候て油を取り
一此大船ハ大東洋アメリカ国の鯨船とイッヘルと云
馬ハ殺鯨の船なり
一洋中鯨と云ふ鯨とハ此の頃ハ殺の鯨馬とも
モリを以て追突き肉と皮との間に長刀のごときものを
入皮を元肉に洋中に捨て置く薩摩藩にて
鯨の肉を喰ふ則鯨船の捨て置し肉なり
一鯨の油と云ハ肉と共に油カスを搾り中より油
搾り絞り搾りのごときの小割にて
一三年の五月八日国に帰船

一 西の見世をうつむきてめき笠を冠り日和ハトみて
あるくこと笠ハ世界の法と定まりまらりゲニ
[illegible]
一 [illegible]ハ日ハ無[illegible]のとき[illegible]をうデ[illegible]ハ
イヽヱふゲテ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
一 上下の人ハ[illegible]を持日ハの常りのとき上下とも
をつく無[illegible]の[illegible]
一 八月廿大概四ヶ位七月ときこと[illegible]

西洋国より船入津し日ハ[illegible]
一 件の[illegible]入津しアメリカ国より[illegible]
[illegible]人と[illegible]セツセツセ
[illegible]
一 万[illegible]ハタクチヨ[illegible]
[illegible]
一 [illegible]人[illegible]
[illegible]
一 四人[illegible]タクチヨ[illegible]

国立国会図書館　タイトル『土州人漂流記』　請求記号 862-1
ガラス使用

世話して為相日蔵なを勧むといふ

一八月廿日の九月のこと一年中蝦夷地を探索

一蝦のるいハアメリカの船にて月の七日くらい日本元号のあ

為にて蝦夷ハ六月廿日ハ六月世界為然の船にて高

砂の七月に天竺をあるよしなり

一食物ハ日本年定食なりと中ニ上食い書之事

法ハ不法ハ上ハ上ハ世界新ハ小朝鮮の世界

七日ハ日本ハ蝦夷ハ日本ハ世界ハ浦賀あり

国法なり日本国法のときなの海中ニ入

居る海老を長者

一京ハ七ヤウキ二しら六年前アメリカから船を開

船なるハ板のてくへゲルをてくらふ濱ハ大

石を敷石をいふ又ハ板間のふ多し病時ハ船の

てを出事所ニ入ハ小船なる蝦夷をハ人ハ人を焼ふ

一ハ世を苦ハ濱口ニ六メ用信の大砲を居て是を斬よ

一七号一王なる死を世ハ棺ニ納ハ船の事ハ入

ふりをなす七を以埋たる元伊こ堂を築る日外
小同し高麗上格八棹を用ひ小思い決蕪こ棹八畠外
割長く似く小棹こ至こ方寸ゆ
一伝蔵和三人い高知城の見物を長崎に商業の
ちしこて陸こ病死す相芋を飛こる又日外稲を持て
屋を初て拙小根を生ゆ此こ三人こ出
百姓業をなすこと
一右三人の国の浦人こ元伊ゆいこ高中入刑浦人の
姫島をとらし舵船に乗りを元証ス高麗八拝
ちこ伊ゆこ乗る世界の下を巡て エゲ地こ
エゲ人国を出こ用人を上陸ち長崎迄て会
もなし是此ち再ひ舵船こ乗こ八ッ国こ伊ゆ
小ちこ六年ちこ
一万治帝ちハアメリカ亦英仏の後ツイッヘル世界こ日外
寺院のをきあこ初ちち学問ス後こ八寺
師匠ちこ孔書為賞中科小八国者こ御年ツイッヘルこ八

国立国会図書館　タイトル『土州人漂流記』　請求記号 862-1
ガラス使用

[illegible]

一アメリカ国ハ大抵日本と同一十二ケ条の法令有之
[illegible]

一王ハ七人ヲ撰ミ世アメリカ国三年六ケ月ニ成ル世日本ト同
様ニ俗ハ八ケ国の民一王ハ国中の賢人を撰ミ牛
四年ヲ限リ[illegible]ハ八ケ年も[illegible]
[illegible]

一アメリカ国ニ年ヨリ世代ヲ[illegible]
[illegible]
のち一年十二月日本と同一ニ国紀元式[illegible]

一汽車ニ乗ル[illegible]人[illegible]車を[illegible]
又蒸気船ニ[illegible]空船ハ[illegible]
[illegible]

一文字ハ二十六ヲ[illegible]ハ用ヒ[illegible]日本と同大数
を[illegible]

一人物[illegible]実ニ[illegible]人数[illegible]

なし居る間なく人を殺すこと数知れず

一婦人の話に昔日本の一船難破して武州海を

刈こなを連し居りし時海の中に婦人

神と崇て呼まし婦人は多婦女にて別に

所なしと

一妻の形くまなく油漆を塗りて上品なる

一上品の人い酒を飲のむと酔のまぬ者の

日本の人の下婢人い婦人を嫌しもと酒の

日本に来る事

一婦人の話に昔日本に難船

一長崎南アメリカ国辺境の民の事に会戦なる所アメ

リカの勝利なるに此戦中百姓軍隊私に

なること

一文武の警兵隊なる所の濠の仕ひ方に有て馬を

駐屯なし居る所日本のごとき馬なる

一笑話陶器なし婦人湯の形

国立国会図書館　タイトル『土州人漂流記』　請求記号 862-1
ガラス使用

一 船はあとに蘭がとりかこみ船をもつて日本
船をもつて流れす大勢病人ひ疫病にて水を飲
人をこの国に入れまた古津浦を埋めて勢をと
まりとて有こと病めて生こと人多し
一 西洋疫病仏蘭西アメリカ国い疫出れい疫を城陸
疫病ありとて人を捨てまた病こと疫病と落こと
一 多数ち我日本のこと流行ある物をいなし
一 大本年日本船を攻して云こと大我本以ち

一 却支那の船は波国を奪ち
一 万海船はいろいろ小浮ひ又は物をとも解船を奪
をとる奪こと日本の沖をは奪ちを奪別ん
上陸の者をとりこけば日本商船に乗ハ二五捕出
るあり解船六七百年来ハ海国又陸出をを
奪或はハ海をとり陸ハ船ハ乗を仕を求を
別五五又ハ海中をひ海中の解こと乗法き
海をとして元号

一天竺の中ニヤカタラ王陸国ニ上陸ス大王陸ハ赤色
下の国ニて色黑く漂ぶて流ニて蘭人居ニて
常ニ大王の王陸ニ帰すと云ひ国人カシラの実を
食人死ニ臨ハ集て食ハシアハシ姫ニの新と云
実なり

一武州法国ニて八ツ王陸の長崎ニ三人ニ番船
国の弱城ニ再ひアメリカ国ニ漂流の者ハ
六年ニて帰国ニて市ニ渡

ら取ラるもの多ク

一方法帝四国の弱を知セしが今を盛勢
国と立ちて南アメリカ王の今ニ於て大ニ世
地沿革ニて今ハ貧拙ニ沿革ニて昔ハ強国
多し一度今を去ニて家人物ニ元の中ニ帰化して
今ニ於て八ツ王迎伺ハ長崎ニ中西を送
アメリカ国商船ニ便りを元ニ帰して琉球ニ早里帰り
神ニ小西を七ツ三人ニ京ニ流罪ニ右商船

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]アメリカ[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

大略あらまし

一ハツヽアメリカ国ニ漂流仕候ヶ様ニ相成候事

一薩摩国鹿児島の浦ニ漂流仕候て藩主自代様ニ

日本の語ヲ教ヘ申候

一長崎ニ参て揚屋入ニ相成候ヶ様ニ申渡候ヶ

日ニ清国ニ渡の船参り候ヶ日本語を覚へ

一アメリカ国日本語教ヘ新ヶ様ニ乃事ニ相成候

ヶ文を利解ニ成候ヶ様ニ

ヶ月ニ清国ニ渡候事

一八ツ国ニ日本人相ヶ日ヶ長ク居ル前ヶ知ル事の

あらまし

一五人の者ヶ三年到着ヶ大阪の学院

ヶ入学ヶ

一世話ヶ五人八ツ国ヶ渡ヶ浦賀ヶ西国

ヶ長崎ヶ渡ヶ

一以ヶ浦賀ヶ相来ル船ヶ全ク軍船ヶ測量ヶ

船ちかくに日本地測量の節又と雇船人
ふし水夫の恵を深んをを形変らし以来も家
ハ人傷ることを事絶中会以来日本人球の外踏ることを
あきれ形中にあるし一体日本人ハ強きものとふ傳
ハ寛仁なるのゆえなる以来開中ふるに中ふ中ふ他邦
を侵ハ元恨なと考ふ事

一 彼国をイギリス人ゆえ堅固中一変量の地ゆえ
アメリカ国王の形ハ事地変ゆえ大城をかまえ
数多ありて

一 彼王府の上大なる流と数百里の中ゆえ陸と海ゆえ
ゆえなるゆえ

一 ゆえ王ゆえ人ハ限形ハ恨形ゆえ一生あること

一 官人ハ従来位威をゆえ称ゆえ

一 人品ハ上下衣服の色を以別ス

一 平民ハ黒ゆえ黒四角形ゆえ冠ス

一 黒居官人ハ官人に勝ゆえ上品の衣服をゆえ仲間中

一アメリカ国ニ蒸気車ト云テ器械ヲ積テ
アメリカ船中いろくの荷を入船百里有りと云
を知る者もあり
一百姓帰携事ハ船ヲ小やすりの数又ハ積荷の数
多し其小船ハ荷を乗るのみ
一唐紙ハ多の陸を人又ハ数ハ羅紗を用
一羅紗ハ織こハ車を付ケ手ヒシヲ革の毛をとり糸を乗
引ものふ車付ケのあやつりて人力を要さず
一百姓帰アメリカ国ハ手ヨシマヒと云事人メ人シタラカシュン
メヘシタチハ日本ニて夜と云ヤ
一蘭ニ先ヒとうをメグケトメルと云
一クロニ指耳眼ニ張ヲ乃
一伝蔵ハ六ハ八月国ニ日本の名を教ヒ伝蔵
の名を業恵ニ名ヒ今の国人業恵と云ハ
ひとを活ニ為ニ伝蔵ニ成
一清乃ニ陽の数ハ始陽を扶ハタラハキの実

862
1

を拾ふ紙の面を見て

跋

拾遺集入ふ所の跡を思ひ

増童子

国立国会図書館　タイトル『土州人漂流記』　請求記号 862-1
ガラス使用

60

国立国会図書館　タイトル『土州人漂流記』　請求記号 862-1

ガラス使用

862
119
1

国立国会図書館　タイトル『土州人漂流記』 請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『土州人漂流記』　請求記号 862-1

ガラス使用